

令和5年度「全国学力・学習状況調査」

調査結果の概要及び今後の取組について

みなべ町教育委員会

令和5年4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要及び今後の取り組みについて、お知らせいたします。

この調査は、小学6年生と中学3年生を対象とし、「教科に関する調査」について小学校は国語・算数、中学校は国語・数学・英語を実施し、児童生徒の学習意欲や学習環境等を調査する「質問紙調査」も併せて実施いたしました。

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的とし、実施したものです。

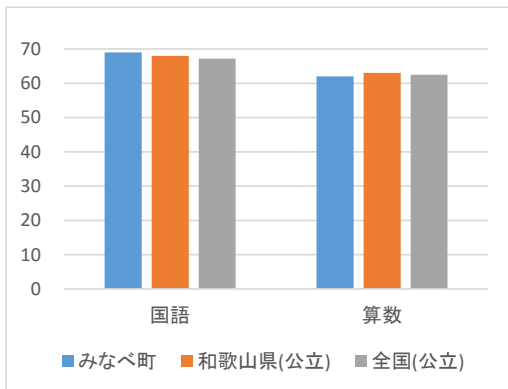
本教育委員会では、町内小中学校全体の調査結果の概要と今後の取組について広く町民の皆様にお知らせし、子どもたちの学力向上・学習環境の改善に向けて、学校・保護者・地域が一体となった取組を進めてまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

1 教科に関する調査結果について

(1)平均正答率(%)

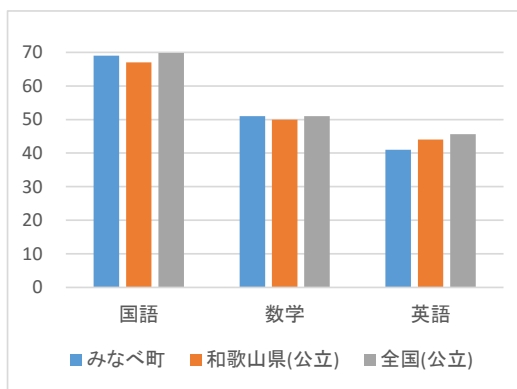
小学校 第6学年

	国語	算数
みなべ町	69	62
和歌山県(公立)	68	63
全国(公立)	67.2	62.5



中学校 第3学年

	国語	数学	英語
みなべ町	69	51	41
和歌山県(公立)	67	50	44
全国(公立)	69.8	51.0	45.6



今年度は、国語、算数(数学)に加え、中学校では英語の調査も行われました。
小学校において、国語で、全国・県平均を上回る結果となりましたが、算数で、全国・県平均を下回る結果となりました。
中学校において、国語で、県平均を上回り全国平均を下回る結果となりました、数学・英語では、全国・県平均を下回る結果となりました。英語については、今回は平成31年度で4年ぶりの実施となり、また、オンラインで実施した「話すこと調査」は今回の結果報告に含まれていません。

(2)各教科の学習指導要領の領域別平均正答率

学年	小学校6年生	中学校3年生
教科	国語	国語
学習指導要領の内容		
話すこと・聞くこと	○	○
書くこと	○	▽
読むこと	—	—
言葉の特徴や使い方に關する事項	—	—
情報の扱い方に關する事項	—	—
我が国の言語文化に關する事項	—	—
教科	算数	数学
学習指導要領の領域		
数と計算/数と式	—	—
図形	—	—
変化と関係/関数	▽	—
データの活用	—	○
教科		英語
学習指導要領の領域		
聞くこと		▽
読むこと		▼
話すこと [やりとり]		—
話すこと [発表]		—
書くこと		—

国語

小学校では、「書くこと」において、全国を4.3ポイントを上回る結果となり、書く指導を工夫したり、自分の考えを書く時間を設けたりするなど、授業改善の成果がみられました。

中学校では、「話すこと・聞くこと」において、全国を3.3ポイント上回る結果となりましたが、一方で、「書くこと」においては、全国を4.6ポイント下回る結果となりました。

算数・数学

小学校では、「数と計算」「図形」「データの活用」において全国と同程度の結果でしたが、「変化と関係」において、全国を3.4ポイント下回る結果となりました。

中学校では、「データの活用」において、全国を3.4ポイント上回り、その他の領域においては、全国と同程度の結果となりました。

英語

「書くこと」においては、全国と同程度の結果となりましたが、「聞くこと」、そして「読むこと」において、全国を下回る結果となりました。特に「読むこと」については、全国を5.1ポイント下回っており、課題克服のための授業改善・工夫が求められます。

◎：全国平均に比べ5ポイント以上高い ○：全国平均に比べ3～5ポイント高い
 ▼：全国平均に比べ5ポイント以上低い ▽：全国平均に比べ3～5ポイント低い
 —：全国平均との差が3ポイント未満

(3)教科の概要 ◇よかったところ ◆課題が見られたところ

小学校

国語

- ◇目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることがよくできています。
- ◇送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことがよくできています。
- ◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられました。
- ◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることに課題がみられました。

算数

- ◇加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることがよくできています。
- ◇示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することがよくできています。
- ◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられました。
- ◆百分率で表された割合について、基準量と比較量の関係について捉えることに課題がみられました。

今後の取組について

- ・自分の考えを記述する際には、自分の考え(考察)を深めるために、また読み手が理解しやすくなるために、文章に加え図表やグラフなどを用いるなど、場面や状況、目的等に応じて書き表し方を工夫できるよう指導を行います。
- ・観察や構成などの活動を通して図形の性質や計量について考察したり、示された割合から基準量を決め、それに対する比較量を捉えられたりできるよう指導を行います。

中学校

国語

- ◇話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することがよくできています。
- ◇聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることがよくできています。
- ◆具体と抽象など情報と情報との関係について理解し記述することに課題がみられました。
- ◆読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がみられました。

数学

- ◇四分位範囲の意味が理解できていました。
- ◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することがよくできています。
- ◆空間における平面が1つに決まるための条件について課題がみられました。
- ◆結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題がみられました。

英語

- ◇「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことがよくできています。
- ◇日常的話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることがよくできています。
- ◆日常的話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がみられました。
- ◆文と文との関係を正確に読み取ることに課題がみられました。

今後の取組について

- ・調べたり考えたりしたことを、レポートにまとめて書く場面を設定し、読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方確かめたり、具体と抽象など情報と情報との関係に注意したりしながら文章を整えるなどの指導を充実させます。
- ・観察、操作、実験等の数学的活動を充実したり、事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりするなどの場面を設定し、思考力、判断力、表現力等の育成に努めます。
- ・目的や場面、状況等に応じて必要な情報を読み取ったり、文章を読むことを通して概要を捉えたりする場面を設定し、読む力を身につけさせるための指導を行っていきます。

2 質問紙の調査結果について (全国に対して5%以上差があり課題となる部分に▼)

(全国と比べ特徴的な結果の出ている質問について紹介します。)

(1)「読書は好きですか」

「あてはまる、どちらかといえばあてはまる」を合わせると、全国平均に比べ、中学校では3.7%上回りましたが、小学校では0.1%下回っています。小中学校においては、児童生徒が楽しみながら読書できるように、図書館司書等との連携を密にしながら、読書活動の推進を図っていきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	28.2	39.4	▼11.2	33.3	35.2	1.9
どちらかといえばあてはまる	43.5	32.4	11.1	36.4	30.8	5.6

(単位: %)

(2)新聞を読んでいますか。

「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」について、小学校、中学校どちらにおいても、全国平均を上回る結果となりました。しかしながら、「ほとんど、または、全く読まない」については、小学校で62.4%、中学校で70.7%で、どちらも全国平均を下回っていますが、比較的高い割合を占めていました。学校と家庭との間で連携を取りながら、新聞に親しむ機会を設けていくことも必要だと考えられます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
ほぼ毎日読んでいる	4.7	4.3	0.4	2.0	2.5	0.5
週に1～3回程度読んでいる	11.8	8.3	3.5	11.1	5.6	5.5
ほとんど、または全く読まない	▼62.4	73.3	10.9	▼70.7	79.4	8.7

(単位: %)

(3) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

「3時間以上」については、小学校では全国平均並で、中学校では全国平均を上回りました。反対に、「全くしない」については、小学校で全国平均を下回り、中学校では全国平均並でした。特に、小学校では、「30分～1時間」の児童の割合が全国平均に比べ高く、中学校では、「1～30分」の生徒の割合が全国平均よりも高い結果となりました。子どもたちが自ら進んで家庭学習に取り組んでいけるよう、家庭学習の手引き等を活用しながら指導の充実を図っていきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
3時間以上	11.8	11.8	0.0	13.1	10.3	2.8
2時間以上、3時間より少ない	9.4	13.8	4.4	13.1	23.4	▼10.3
1時間以上、2時間より少ない	24.7	31.5	▼6.8	29.3	32.1	2.8
30分以上、1時間より少ない	38.8	26.9	▼11.9	22.2	18.0	4.2
30分より少ない	11.8	11.4	0.4	16.2	9.9	▼6.3
全くしない	3.5	4.6	1.1	6.1	6.0	0.1

(単位:%)

(4) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

小学校、中学校ともに、「30分より少ない」「全くしない」の割合が全国平均を上回る結果となりました。特に中学校では、どちらも10ポイント近く大きく上回っており、家庭学習時間があまり確保できていない状況です。ご家庭の協力もいただきながら、時間の使い方を含め家庭学習の大切さを伝えていき、子どもたちに家庭学習習慣が身につくよう指導を充実させていきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
3時間以上	4.7	7.9	3.2	1.0	6.8	5.8
2時間以上、3時間より少ない	3.5	5.4	1.9	5.1	11.5	6.4
1時間以上、2時間より少ない	9.4	11.4	2.0	12.1	21.7	9.6
30分以上、1時間より少ない	24.7	27.8	3.1	21.2	25.3	4.1
30分より少ない	38.8	33.7	▼5.1	38.4	21.7	▼16.7
全くしない	18.8	13.8	▼5.0	22.2	12.5	▼9.7

(単位:%)

(5) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

小学校では、おおむね全国平均と同程度の結果でしたが、中学校では、「あてはまる」について全国平均を大きく下回る結果となりました。中学校では「どちらかといえばあてはまる」の割合が全国平均に比べ高く、半数以上の生徒が回答しています。基礎学力の定着や活用力の向上には、「見直し」は効果的な取組の中の1つです。学習内容の見直しの重要性を訴えながら、子どもたちがその機会を設けられるよう、指導の工夫改善を行います。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	27.1	31.0	3.9	15.2	23.1	▼7.9
どちらかといえばあてはまる	45.9	46.4	0.5	53.5	46.1	7.4

(単位:%)

みなべ町の学力状況は、今年度、小学校の国語で全国平均を上回りましたが、それ以外では全国平均と同程度、もしくは、全国平均を下回る結果となりました。課題がみられた校種・教科については、小中連携やALTの活用等を充実させるなどして、義務教育9年間を見通した系統的な指導を行いながら、授業研究と授業改善により一層取り組んでいきます。

また、令和5年5月8日に、新型コロナウイルスが2類相当から5類感染症に移行され、活動制限もほとんどなくなり、学校の教育活動が以前の姿に戻つつあります。今後、学校においては、児童生徒たちが多様性を認め合い、学校生活や地域社会の中で得た経験や知識等を活かしながら、将来なりたい自分の姿に向かってたくましく成長し、一人ひとりが輝く学校づくりを進めてまいります。